

令和6年度 新宿区校長会

I 活動方針・重点事項等

- 教育委員会事務局と両輪となって、新宿区の教育を支える…情報交換・情報共有の推進
- 地域との連携・協働による教育の推進…地域協働学校の活動推進
- 学力の向上を目指して…新宿区版G I G Aスクール構想の実現 ICTを活用した教育の充実
- 子どもがいきいき学べるように…特別支援教育の推進、不登校支援の充実
- 小中連携教育の推進

II 活動・取組

1 情報交換・情報共有の推進

(1) 5・6年移動教室等の校外学習の情報交換の推進

実施した学校は、その後に続く学校のために一斉メールで情報発信を行っている。天候や立ち寄り先の状況報告、熱中症対策、宿舎の現状、病気やケガ等の救急対応など、事前に準備することで回避できるものから教育委員会レベルで対応が必要な事まで、必要に応じて情報交換する。

(2) 各学校の現状や取組、工夫等の情報交換の推進

学校行事の開催方法、病休や欠員、特殊な学校事情とその対応など学校経営に影響する出来事や人材情報等について、個人情報保護を前提に情報交換を行い、区内各校の規模や教育資源に応じた学校経営を行う上での参考にしている。今後は、LINEを活用し、よりタイムリーな情報共有の推進を検討しているところである。

2 地域協働学校としての充実

区内の全小中学校がコミュニティ・スクールであり、取組の充実のため全校で地域協働学校の運営協議会を設置し、校長としても重視している。

毎年7月には、地域協働学校の推進役でもあるスクール・コーディネーター対象の研修会を実施し、区内小・中学校40校のスクール・コーディネーターが集まりテーマにそって研修及び協議を行い、地域協働学校として取組の向上を図っている。

3 経営研修による人材育成の充実

学校経営を担う人材育成を目指し、年間を通して実施

(1) 開講式 令和6年5月16日(木) 講話 新宿区教育委員会 指導課長

対象：副校長、教育管理職選考受験者、4級職選考受験者、任用審査対象者

(2) 論文指導 区内校長で担当を分担し実施(経営研修担当が担当割り振りを計画・運営)

(3) 面接指導 受験職層により、1～2回受験時期に合わせて実施(7月～10月)

※来年度から経営研修を廃止し、学大と一水の両方の研修会に参加できる形式を検討中。

III 特色・特徴等

<高層ビル、繁華街と地場産業の染色業>

都庁も含め西新宿の高層ビル群、国立競技場等の日本を代表する建造物や歌舞伎町などの繁華街、飲食店街があるため外国からの観光客も多く訪れる。また、外国にルーツをもつ児童の在籍が多いのも特徴の一つである。

にぎやかな現在の新宿だが、かつて神田川の水を利用した落合地区の染色業が新宿の地場産業となっている。

